

令和7年9月19日
校長 吉田 真弘

令和7年9月 コンプライアンス研修資料

～個人情報漏洩について～

- 個人情報について、自分が、どこに、何を保存しているかを把握している。
- 机上等、身の周りに個人情報が記録されたＵＳＢメモリなどをそのまま放置せず、きちんと管理している。
- 個人所有のパソコンのハードディスクには、個人情報を保存しないようにしている。
- 個人情報を保存する際は、パスワード設定等のセキュリティ機能を活用している。
- パソコンで個人情報を扱う際は、インターネット接続を切断するようにしている。
- 業務に用いるパソコンには、ウィニー等のファイル交換ソフトを一切インストールしないようにしている。
- 校内・校外を問わず、個人情報は電子メールにより送受信しないようにしている。
- 学校が保管する個人情報を校外に持ち出す必要があるときは、必ず管理職の許可を得ている。
- 買い物や食事などに行く際、車内に個人情報が保存されたパソコンやＵＳＢメモリなどを放置しないようにしている。
- 年度替わりの時期などには、不要となった個人情報を適切に廃棄している。
- 県教育委員会の保有個人情報管理マニュアル及び自校における取扱規定の内容を理解し、遵守している。
- 取り扱う個人情報を最小限にする工夫や、個人の識別を困難にさせる工夫について、同僚等の情報交換に努めている。
- 個人情報の安全かつ効率的な取扱方法について有効な手立てがあれば、積極的に同僚に広めている。
- 酒席等の周囲に部外者のいる場所において、児童生徒の話など個人情報に関わる会話はしないように十分気をつけている。
- 電子メールやFAXによる誤送信を防ぐため、送信の際は、アドレスやFAX番号等は複数の目で確認している。また、添付資料に不要な個人情報が含まれていないことを、十分に気を付けている。